

チケット好評発売中！ ※完売次第終了



オリジナルミュージカル 「森はうたう」

毎年公演を行っているオリジナルの脚本、楽曲によるミュージカル。
今年度の公演は、コロナ禍で一般公演が中止となった令和元年度の作品『森はうたう』を、劇団四季出身である荒巻正氏の演出で再演します。

日時 2025.3.1 (土) 18:30 開演
2025.3.2 (日) 13:30 開演
会場 砺波市文化会館 大ホール

▶ チケットのご案内 (税込)
指定席 1,800 円
自由席 1,500 円 自由席 500 円
(大人) (高校生以下)
となみ芸術文化友の会会員さま 10%割引(各日2枚まで)
砺波市文化会館ホールメイトさま 5%割引(各日2枚まで)



スターダスト☆レビュー 45周年ツアー2025~27 「星屑冒険王」 ア・カペラ&アコースティック編

2025年3月より全国ツアーが決定!!
『ア・カペラ & アコースティック編』は砺波市文化会館から幕開け!
珠玉の楽曲の数々をぜひ砺波市文化会館でお楽しみください。

日時 2025.3.20 (木・祝) 17:00 開演
会場 砺波市文化会館 大ホール

▶ チケットのご案内 (税込)
全席指定 7,000 円
となみ芸術文化友の会会員さま 10%割引 (2枚まで)
砺波市文化会館ホールメイトさま 5%割引 (2枚まで)

※未就学児入場不可

※パーカッションの林"VOH"紀勝は病気療養中のために出演できない可能性がございます。予め、ご了承ください。

友の会だより第62号 2025年1月

〔発行〕 となみ芸術文化友の会事務局 (砺波市美術館内)
〒939-1383 富山県砺波市高道145-1 電話 0763-32-1001

新年のご挨拶 「苔の下水」 となみ芸術文化友の会会長 谷口 美都江

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、となみ芸術文化友の会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。
本年も、よろしくお願い申し上げます。



昨年は、大地震と豪雨などの自然災害に見舞われた年でした。いつ自分の身に起きてもおかしくないという思いも致しました。自然災害だけでなく、あらゆることに危機感を持つことが必要になってきていると感じております。

ところで、令和6年度の友の会事業について、5月に総会とその後の公開コンサート、8月に小西副会長の講演会、10月に岐阜県への研修旅行、12月に新しい試みとして美術作品とのコラボレーションなどを行いました。

なお、今後につきましては、2月に砺波市美術館杉野館長による講演会を予定しています。

また、友の会の会費の一部は、美術館・文化会館が行う活動への支援として助成しており、美術館は企画展に、文化会館はオリジナルミュージカルの事業に充てられています。

皆様にとりまして、となみ芸術文化友の会が楽しく有意義なものとなりますように、今年も企画、立案していきたいと思っております。ご参加をお待ち致しております。



岩間とぢし 氷も今朝は 解け^そ初めて 苔の下水 道もとむらん

西行法師 新古今和歌集

(岩と岩の間をふさいでいた氷も、立春の今朝に解け始めて、苔の下にたまったその水は、今、流れ出す道を求めていることであろう。)

友の会講演会のご案内

演 題：『MUSEUMは「博物館」か「美術館」どっちなの?』
会 場：砺波市美術館2階 市民ギャラリー
日 時：令和7年2月2日(日) 午後3時30分~4時30分
講 師：砺波市美術館館長 杉野 秀樹氏
対 象：どなたでもご参加いただけます(聴講無料)



令和5年度の講演会の様子

となみ芸術文化友の会事業報告

研修旅行 「見るもよし、買うもよしの焼物日帰りツアー」



令和6年10月16日（水）、会員24名の参加を得て「友の会の研修旅行」を実施しました。

最初の見学地は、道の駅志野・織部に隣接する、土岐市内の美濃焼陶磁器卸商社が一同に集まる商業団地「織部ヒルズ」。ここでは、昼食前に軽く散策をと設定した行程でしたが、あまりにも広大な敷地に店舗が点在していたため、バスを降りた付近で散策することとなりました。参加者からは「時間がもっと欲しかった」とのご意見が多数ありましたが、そのような中でも「お気に入りが見つかった」「一目惚れをして買ってしまった」といった声もありました。

次は、中山道広重美術館。予約団体が他にもある中、先に浮世絵版画の重ね摺り体験コーナーに案内をしていただくことができ、大半の方が3パターン全ての版画重ね摺りを体験されたようです。「楽しかった」「土産になります」とのご意見をいただきましたが、あまりにも版画体験に夢中になりすぎて時間が足りず、ゆっくり鑑賞できなかった方が多数いらしたようでした。

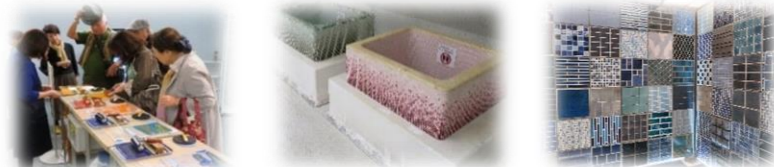
最後は、多治見市モザイクタイルミュージアム。ユニークな外観に見入り、中に入ってからタイル製品（特にお風呂）や室内を覆う絵タイル、最新のタイル情報がわかる産業振興のフロアなど、多用のタイルに感動されていたようでした。「素敵なタイルを見られて良かった」「笠原町の地場産業に対する意気込みがすごいと思った」中には「家のキッチンを作る前に知りたかった」といった声もありました。

今回、作品の鑑賞以外に体験コーナーもあるなど、全般的（昼食も含め）に良かったとの感想をいただいております。

心配されたお天気は、小雨が降る中での出発でしたが、「晴女だから大丈夫…」といった方が数名いらしたおかげもあり…目的地に着いてからは傘いらず。かえって道中の風景が水墨画のようで、思わぬところで美術鑑賞ができたと思う研修旅行となりました。



多治見市モザイクタイルミュージアムにて



美術作品とのコラボレーション オマージュ 「松村外次郎 四神と西行像をめぐって」

【日時】 令和6年12月8日（日）午後3時～4時

【会場】 砺波市美術館2階 市民ギャラリー

【参加者】 20名

○作品解説 砺波市美術館学芸員 杉本 積

○自由鑑賞

○西行の和歌の解説 となみ芸術文化友の会会長 谷口 美都江

○朗読 ～雨月物語より「白峯 しらみね」(現代語訳) 抜粋 ～

となみ芸術文化友の会副会長 大楠 匡子・小幡 豊



今回、初の試みで美術作品とのコラボレーション事業を開催しました。事業の一つに芸術鑑賞の推進を掲げていますが、この事業を手始めに芸術鑑賞に触れやすい環境を今後も整えていきたいと考えております。

砺波市美術館 企画展

館蔵品展 「コレクション展～収蔵作品に見る人物表現～」について

砺波市美術館学芸員 杉本 積

砺波市美術館では、1997年の開館以前より作品収集を開始し、現在までに日本画、洋画、版画、素描、立体造形、工芸、書、写真の他、資料を含めて1,700点余りの作品を購入や寄贈で収蔵してきました。

今回は、「コレクション展～収蔵作品に見る人物表現～」と題し多様な作品から「顔」、「家族」、「作家とモデル」、「市井の人たち」の人物表現を四つのテーマに分けて紹介します。

「顔」は、千差万別であり人それぞれが異なる豊かな表情を持ち、自画像やポートレートといった様々な形態で創作されています。「家族」では、作家の縁者という近い間柄を描いたものから、第三者の客観的な視線で捉えた親子、兄弟、姉妹の関係が垣間見える作品を選びました。「作家とモデル」は、作家が強く惹かれた存在感のある人物や俳優、職業モデルを主題とし、独自の表現を展開している作品群を選びました。「市井の人たち」では、屋外で取材した、行き交う人々の生き生きとした姿に関心を寄せて創作されたものを展示します。

本展では、収蔵美術品の中から人物に焦点を絞り会場構成を行い、作家たちが人間を見つめ主題とし創作した多様な表現をお楽しみください。



熊木明美「もの思ひ」2017年



藤森兼明「アドレーション・デミトリオス」2004年

【会期】 令和7年1月11日（土）～2月24日（月・振）

【時間】 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

【休館日】 1月14日（火）、1月20日（月）、1月27日（月）
2月 3日（月）、2月10日（月）、2月17日（月）

【会場】 砺波市美術館 1階企画展示室

【観覧料】 無料